

研究対象者へのホームページでの掲載用原稿
(附属病院がんセンターホームページに掲載予定)

平成25年1月1日から平成25年12月31日までに川崎医科大学附属病院でがんの診断もしくは治療を受けられた患者さんへ

研究課題名

がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究

平成19年のがん対策基本法が施行され、わが国では全国のがん診療連携拠点病院の指定をはじめとして様々な取り組みが行われています。特にがん診療の均てん化(全国のどこでも同じような質の診療が行われるようにすること)は最も力を入れてきた政策ですが、その評価・管理を行うシステムはまだ確立されていません。そこで、国立がん研究センターを中心として、全国のがん診療拠点病院の診療実態を解析する研究が計画されました。

この研究では、全国のがん診療拠点病院において、平成25年1月1日から平成25年12月31日の間に、がんと診断された患者さん、もしくはがんの治療を受けられた患者さんの診療情報を、国立がん研究センターに提出し、解析が行われる予定です。当院では該当する患者さんが約1500名(研究全体では約32万名)おられ、その方の平成24年10月1日～平成26年12月31日の診療データを提出する予定にしています。提出されるデータは、がんの種類、行われた検査や治療の内容、お薬の種類などで、患者さんのカルテ番号・名前・イニシャル・生年月日・住所など、個人情報が出されることは決してありません。

本研究では研究資金は必要ではありません。また、研究の結果に影響を及ぼすような資金の受け入れはないため、深刻な利益相反の状態にもなっておりません。

この研究に参加を希望されない方、データの提出を希望されない方は、川崎医科大学附属病院ホームページから医療資料部へ電子メール(iryoshiryobu@hp.kawasaki-m.ac.jp)、もしくはお電話(附属病院086-462-1111 内線24571)にて連絡をお願い致します。なお、この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を得ておりますことを申し添えます。

主任研究者

川崎医科大学附属病院 医療資料部
課長 上地 淳